



Show Rotary Cares
ロータリーの心を

あなたの住むところ
私たちの世界
そこに住むすべての人々に



Rotary International

1997-98 R.I. Theme

第2560地区
ガバナー——久保田 昭 治
会 長——五十嵐 総 一
会長エレクト——細 井 増 雄
副 会 長——長谷川 有 美
幹 事——佐 野 勝 栄
副 幹 事——西 山 徳 厚
S A A——山 浦 日出夫
副 S A A——高 森 章 仁

例 会 日——毎週水曜日 12:30～
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事 務 局——三条信用金庫本店内
例 会 場——TEL 35-3311
TEL 35-3477
事 務 局——FAX 32-7095

本日出席会員数	78名中 42名
先々週出席率	91.67%

先週のメイクアップ

5/7 燕へ

渡辺勝利さん

5/7 ローターアクトへ

佐藤吉平さん、丸山行彦さん

5/7 見附へ

榎本 勝さん

5/11 新潟北へ

渋谷健一さん

5/11 三条南へ

外山一郎さん、古沢富雄さん、
加藤紋次郎さん、五十嵐昭一さん、
石橋育於さん、樺山 仁さん、
藤田紘一さん、五十嵐晋三さん、
吉井俊介さん、斎藤弘文さん、
松谷昊吉さん、山田富義さん

5/12 三条北へ

高橋一夫さん、橋 直樹さん

5/12 田上あじさいへ

山田富義さん

会長挨拶

五十嵐総一会長

皆さん今日は。今日は職業奉仕委員会の御計いで(株)新潟井関製作所の工場見学と言う事で、今回の計画をしていただいた斎藤さん誠に有り難うございました。

普段の例会より出席者数が多い様に思え誠に光栄であります。

私から御話し致しますより新潟井関の武田社長さんより色々御話しを頂戴致しました方が我々の職業奉仕との立場から見て、大変勉強になると思いますので、私の挨拶はこれで終らせていただきます。

職場例会

株式会社 新潟井関製作所

社長 武田 勉 殿



皆さん、こんにちは、本日はすばらしい面々の方々が当社においで下さいまして大変光栄に存じます。

三条ロータリークラブの皆様方、ただ今斎藤さんから御紹介いただきました当社の社長を致しております武田と申します。

私がお話し致しますより、皆様には大変おなじみの羽二生会長がお話し申し上げた方が親近感があると思いますが、たまたま商工会議所会頭の任務で御挨拶が出来ませんが、私から当社の業績をお話し致したいと思っております。

なによりもはじめに御礼を申し上げなければならぬのは、それは当社が昭和36年の創業で御座いますが、昭和37年に三条市の企業誘置の第一号に指定され、三条市の方々には大変御支援をいただきながら発展して来まして、大変感謝しております。

本日皆様がお越しいただきました事は大変光栄でありますし、ぜひ、ご覧いただきまして、三条企業の一員としてもっと、もっと皆様の御支援を賜りいただければ幸いです。

ひとつ工場をご覧いただいて御指摘いただければ大変有り難いと思っております。

当社は井関農機の系列会社でありまして営業活動は全くありません。したがって大変企業の体質としては甘い勝手な要素を持っております。皆様をはじめ販売会社の方々も月間4~5回グループ見学に来ていただいております。その方々の見る目、御意見は、私共にとりましては大変貴重なものであります。大変有り難いと思っております。どうか、よろしく御支援いただきたいと思っております。

会社の概要

社名	株式会社 新潟井関製作所
所在地	新潟県三条市西大崎3丁目12番23号
代表者	代表取締役 武田 勉
創業	昭和36年12月5日
資本金	3億円
従業員数	270名(男子224名 女子46名)
生産品目	乗用田植機(4条植、5条植、6条植、8条植、10条植) 歩行田植機(2条植、4条植、6条植) バインダー(1条刈、2条刈) 回転式刈摺機(2.5、3、4、5インチ) 揺動式刈摺機(3、4、5インチ) 野菜移植機 全自動方式、半自動方式 油圧機器 その他 OEM製品

会社の沿革

昭和36年12月	我が国最大の農業機械専門メーカーである井関農機(株)を親会社とし、同社の稲刈機械の生産を担当し、資本金2,000万円をもって創業。
昭和37年1月	第1期工事(事務所250㎡、工場740㎡)竣工、人力稲刈結束機を生産開始。
昭和37年4月	三条市工場誘置条令第1号に指定。
昭和37年12月	工場拡張第2期工事、工場増築872㎡竣工。
昭和40年3月	工場拡張第3期工事、工場増築730㎡竣工。
昭和40年4月	従来の製品、人力稲刈結束機R1Aと新たに動力式RH-10の併行生産を開始。
昭和42年7月	全自動稲刈結束機(2条刈)RB-50(バインダー)の併行生産開始。
昭和44年3月	第4期工事、事務所増築386㎡、工場増築333㎡及び友和寮新築776㎡竣工。

昭和44年3月 2条刈バインダー（RS-50）及び同駆動部の生産開始。

昭和45年8月 資本金を5,000万円に増資。

昭和47年2月 小型耕耘機KC-350の生産開始。

昭和49年1月 第5期工場拡張工事2,161㎡竣工。

昭和49年5月 歯車加工設備の新設により歯車量産開始。

昭和49年12月 4条田植機（歩行型）生産開始。

昭和51年2月 6条田植機（歩行型）生産開始。

昭和52年7月 第6期工場拡張工事2,233㎡竣工。

昭和53年1月 8条、6条乗用型田植機を生産開始。

昭和54年3月 4条田植機、バインダー、韓国輸出開始。

昭和55年8月 1輪1条刈バインダー生産開始。

昭和56年9月 4条田植機台湾輸出。

昭和56年11月 除雪機生産開始。

昭和57年4月 友和寮を事務所に改築移転。

昭和57年10月 乗用田植機駆動部組立生産開始。

昭和58年10月 製品ストアー、1,385㎡竣工。

昭和58年11月 1輪2条田植機生産開始。

昭和59年7月 回転式糶摺機生産開始。

昭和60年4月 第7期工場拡張工事、541㎡竣工。

昭和61年5月 第8期工場拡張工事（2階建）4,608㎡竣工。

昭和61年5月 ロータリー乗用田植機生産開始。

昭和62年6月 野菜移植機「ナウエル」生産開始。

平成1年4月 開発室設置。

平成2年8月 小型乗用田植機PM40「ラブリーミニ」生産開始。

平成2年8月 田植機「さなえ」100万台生産達成記念行事。

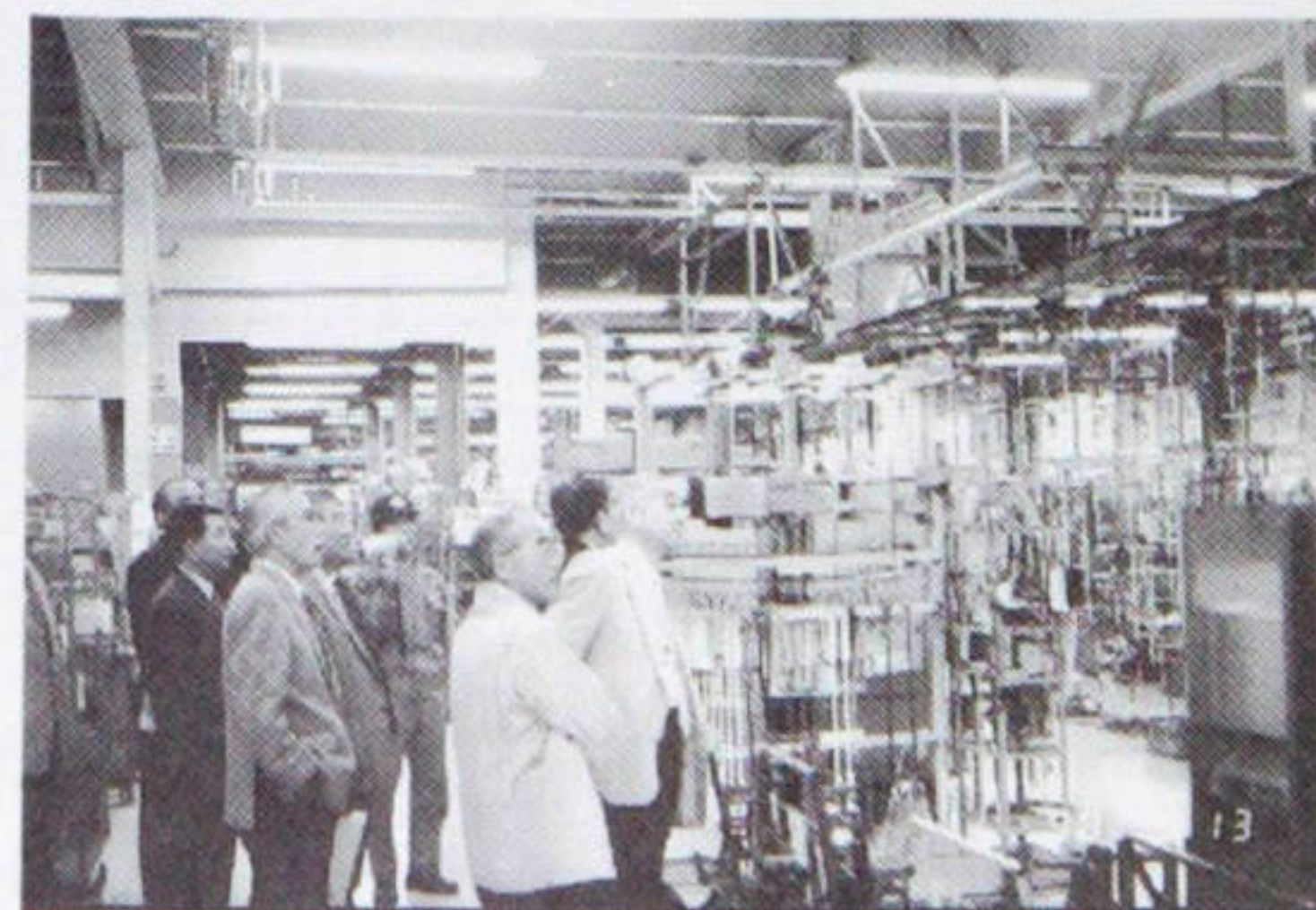
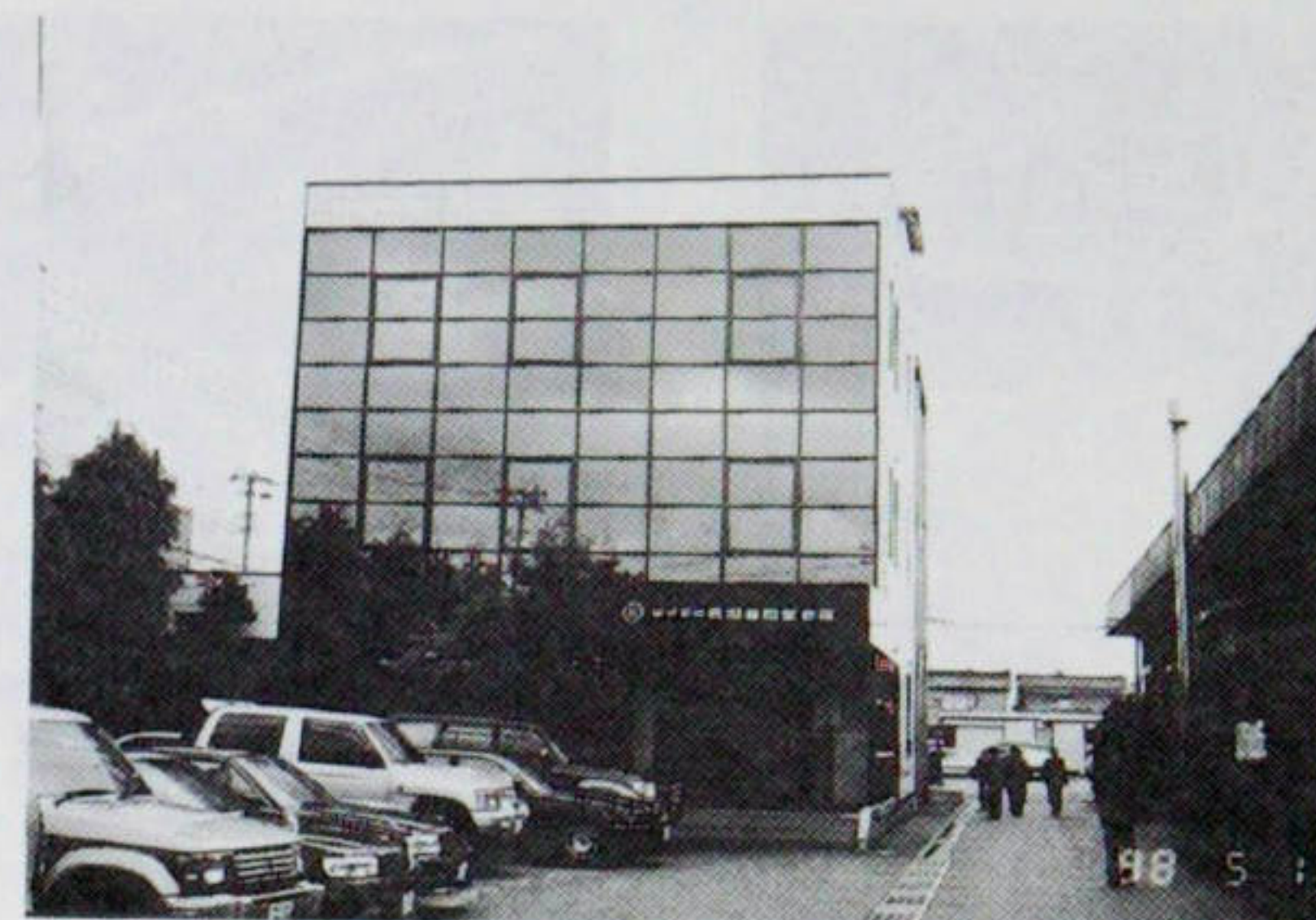
平成2年8月 立体自動倉庫（型・治具）竣工。

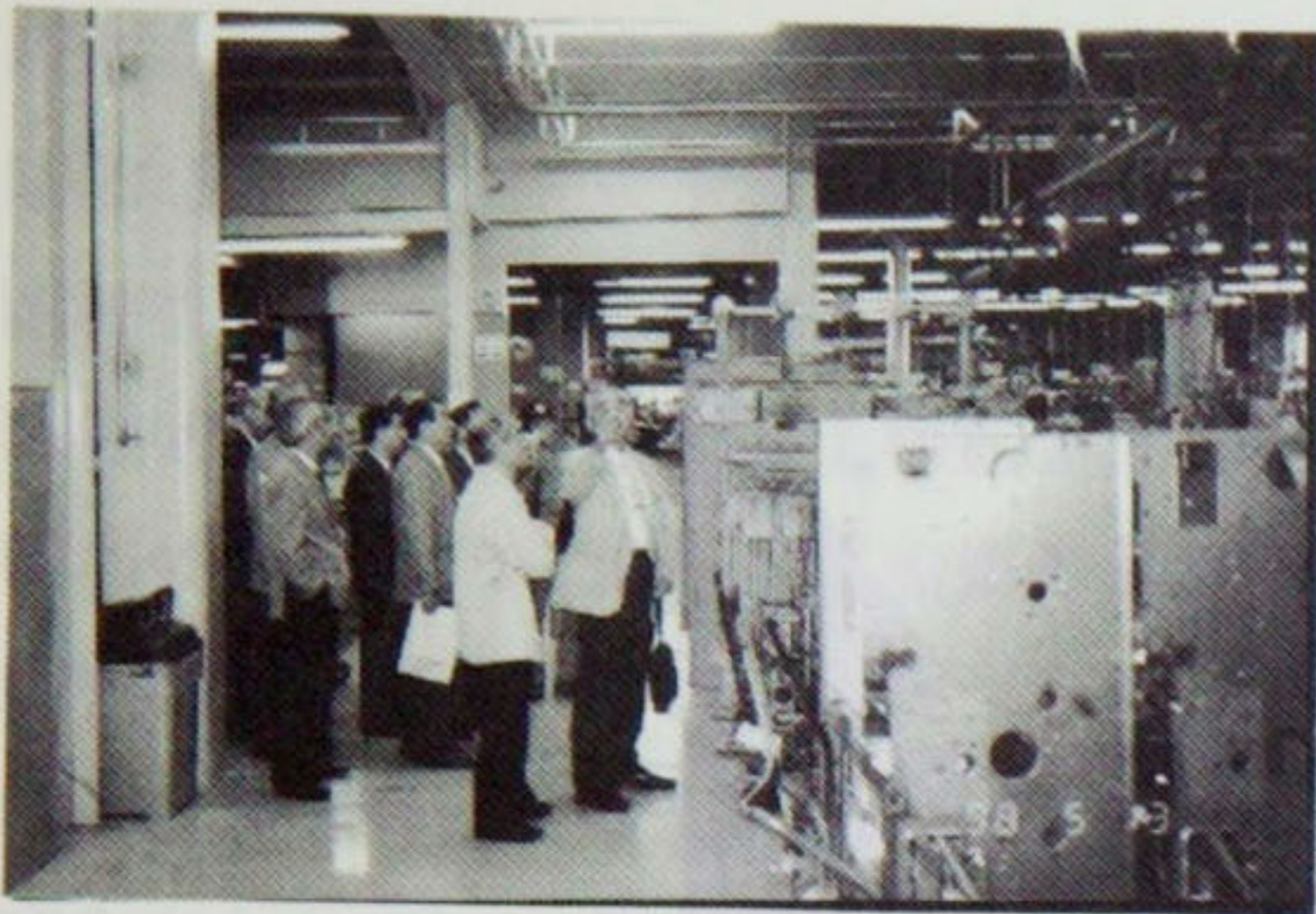
平成3年1月 資本金を2億円に増資。

平成3年8月 立体自動倉庫（部品）竣工。

平成3年11月 資本金を3億円に増資。

平成4年11月 事務所増築。





例会案内

三条RC	5月27日例会	クラブアッセンブリー
	6月3日例会	卓話 全日本バレー 緒方 良 殿

メイクアップをどうぞ

三条南RC	5月25日例会	創立30周年クラブ内祝賀会
	6月1日例会	クラブ・フォーラム
三条北RC	5月26日例会	外部卓話
	6月2日例会	会員卓話
加茂RC	5月28日例会	クラブ・フォーラム
	6月4日例会	会員卓話
燕RC	5月28日例会	クラブ・フォーラム
	6月4日例会	会員卓話
見附RC	5月28日例会	夜例会 PM 6 : 30~
	6月4日例会	会員卓話